

# 上越教育大学概要

昭和58年度



## 目 次

創設の趣旨・目的	2
沿 革	3
今後の計画等	5
組織図	6
役職員等	7
部及び講座	8
附属図書館	8
学校教育研究センター	9
保健管理センター	9
附属実技教育研究指導センター	10
附属学校	10
職員数	10
学生の定員及び現員	11
入学志願者数及び入学者数	12
県別入学状況	13
福利厚生施設	14
校地及び校舎	15
建物配置図	16
位置図	20



大学の建物及び上越市(直江津地区)

## 創設の趣旨・目的

上越教育大学は、新しい理念と構想のもとに、学校教育に関する理論的・実践的な教育研究を推進するための国立の大学である。

今日、教員に対しては、教育者としての使命感と人間愛に支えられた、広い一般的教養教育の理念・方法及び人間の成長や発達についての深い理解、教科に関する専門的学力、優れた教育技術など、専門職としての高度の資質能力が要求されている。

本学は、このような要請に基づき、初等教育教員を養成する学部と、主として、初等・中等教育教員に研究・研鑽の機会を提供することを趣旨とする大学院をもつ大学として設置された。

学部は、学校教育学部とし、初等教育教員養成課程を置き、児童等の成長と発達に関する総合的な理解の上に、全教科・領域にわたるすぐれた指導能力を備えた初等教育教員を養成する。

また、学部の教育は、人間の生涯を通ずる教育の基礎とされる初等教育と、これにたずさわる教員の養成の重要性にかんがみ、学生の人間形成を重視するとともに、教育課程の改善、教育実習の拡大をはかるなど、教育の内容と方法に新しい工夫を加えている。

大学院は、学校教育研究科（修士課程）とし、主として初等中等教育の実践に係わる諸科学の研究を行うとともに、初等中等教育教員に高度の学習と研究の機会を与え、その理論的・実践的な能力の向上を図ることをねらいとしている。

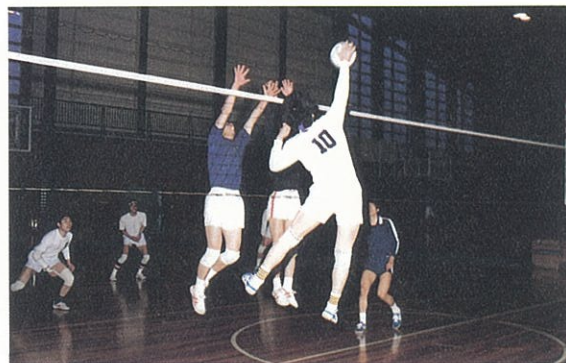
## 沿 革

- 昭和51年 8月1日 文部省内に「教員大学院大学創設準備室」設置（室長 須田 八郎）
- 昭和53年 6月17日 第84国会で「国立学校設置法及び国立養護教諭養成所設置法の一部を改正する法律」が成立し、  
本学の創設公布
- 10月1日 上越教育大学が開学し、学長に辰野千壽就任 事務局を新潟大学教育学部高田分校内に設置
- 昭和56年 1月25日 第1回の学部推薦入学者選抜試験実施
- 3月4～6日 第1回の学部入学者選抜試験実施
- 3月16日 第1回の学部合格者発表
- 3月25日 学生宿舎の一部竣工（55年7月12日着工）
- 3月25日 人文棟竣工（55年2月17日着工）
- 4月1日 「国立学校の附属の学校に関する政令の一部を改正する政令」及び「国立学校設置法施行規則  
の一部を改正する省令」に伴い、附属実技教育指導センター、附属小学校、附属中学校の  
設置（附属学校は新潟大学教育学部附属高田小・中学校の移管）
- 4月16日 第1回学部入学式挙行
- 4月20日 旧新潟大学教育学部高田分校の校舎等の一部を使用し、授業開始
- 5月25日 講義棟竣工（55年9月14日着工）
- 5月25日 実験棟、大学会館、設備機械棟竣工（55年9月1日着工）
- 6月8日 山屋敷地区の第一期工事の校舎等の完成に伴い、事務局、研究室、学生宿舎等の移転
- 8月10日 音楽棟竣工（55年10月1日着工）
- 12月2日 学生宿舎の一部竣工（56年3月18日着工）
- 昭和57年 1月10日 第2回の学部推薦入学者選抜試験実施
- 1月20日 美術棟、体育棟、体育館、小体育館竣工（56年4月1日着工）
- 3月4～6日 第2回の学部入学者選抜試験実施
- 3月16日 第2回の学部合格者発表
- 3月31日 職員研修センター竣工（56年10月19日着工）
- 4月15日 第2回学部入学式挙行
- 8月28～29日 第1回大学院入学者選抜試験実施

- 9月11日 第1回大学院合格者発表
- 12月11日 第2次募集による大学院入学者選抜試験実施
- 12月15日 学生宿舎の一部竣工(57年3月31日着工)
- 12月25日 第2次募集による大学院合格者発表
- 昭和58年 1月9日 第3回の学部推薦入学者選抜試験実施
- 1月25日 附属図書館竣工(57年3月29日着工)
- 3月4~6日 第3回の学部入学者選抜試験実施
- 3月16日 第3回の学部合格者発表
- 3月28日 自然棟竣工(57年2月26日着工)
- 3月31日 本部・事務局庁舎竣工(57年9月2日着工)
- 4月12日 附属図書館開館
- 4月14日 第3回学部入学式並びに第1回大学院入学式挙行
- 5月30日 陸上競技場竣工(57年8月14日着工)



幼児教育の授業



体育館での課外活動

## 今後の計画等

本学は、国立学校設置法等の一部を改正する法律（昭和53年法律第74号）により、昭和53年10月1日に設置され、学校教育学部については、昭和56年4月から学生を受け入れている。

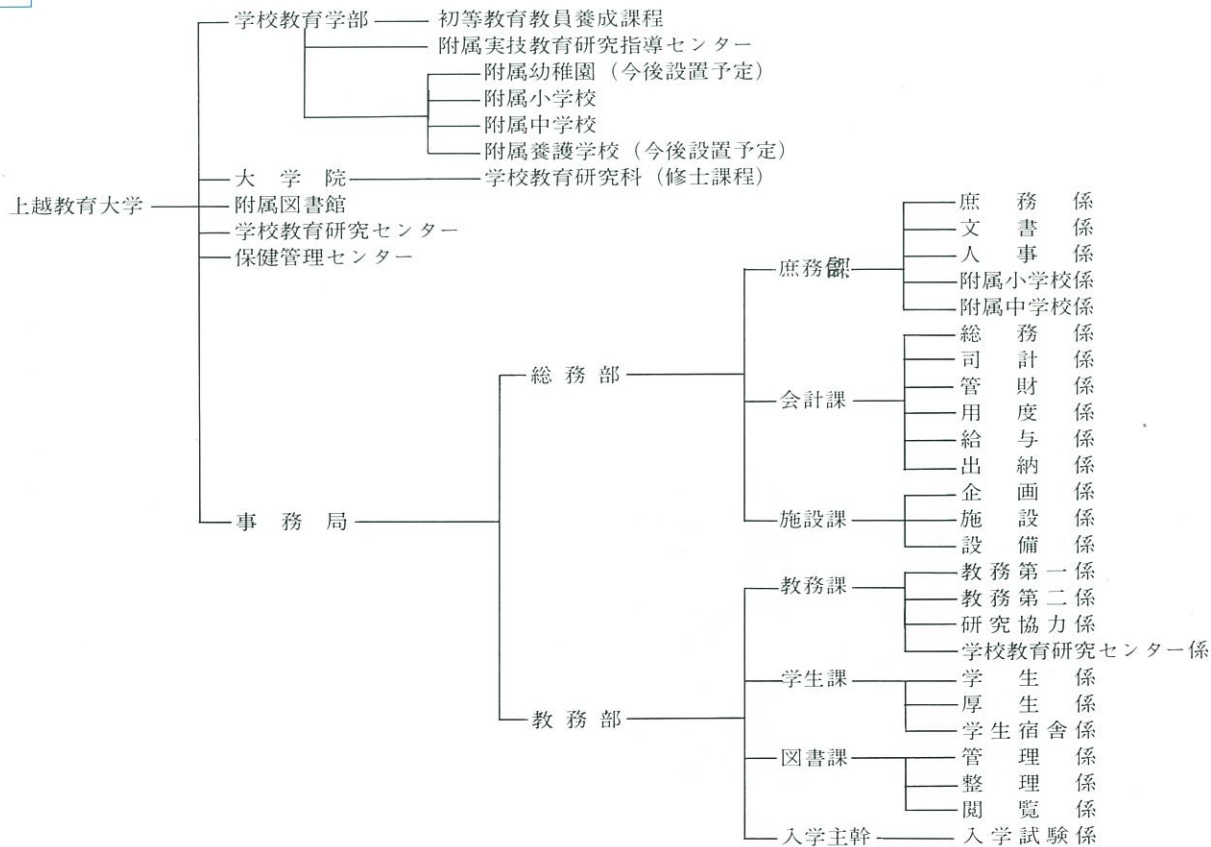
大学院学校教育研究科（修士課程）については、昭和58年4月から、一部の専攻・コースにつき学生を受け入れている。

大学院の課程・専攻・コースの設置、学生受け入れ等の予定は次の表のとおりである。

（ ）は入学定員を示す。

区 分		昭和58年度	昭和59年度	昭和60年度	
大 学 院  (学 校) 教 育 (研究科)	学 校 教 育 専 攻	教育基礎コース	(約15)	→	
		教育経営コース	(約15)	→	
		教育方法コース	(約10)	→	
		生徒指導コース	(約10)	→	
	幼 児 教 育 専 攻		(15)	→	
	障 害 児 教 育 専 攻		(25)	→	
	教 科 ・ 領 域 教 育 専 攻	言 語 系 コース		(約40)	→
		社 会 系 コース		(約30)	→
		自 然 系 コース		(約50)	→
		芸 術 系 コース	(約50)		→
生 活 ・ 健 康 系 コース		(約40)		→	

# 組織図





# 役職員等

学 長	辰 野 千 壽	第五部学部主事	石 毛 フミ子
副 学 長	辰 野 千 壽	部 局 長 等	
副 学 長	須 田 八 郎	附 属 図 書 館 長	坂 井 誠 一
評 議 員	松 田 岩 男	学 校 教 育 長	小 金 井 正 巳
学 長	辰 野 千 壽	附 属 研 究 セ ン タ ー	小 林 和 夫
副 学 長	須 田 八 郎	保 健 管 理 セ ン タ ー 所 長	小 木 庭 修 一
副 学 長	松 田 岩 男	附 属 実 技 教 育 研 究 指 導 セ ン タ ー 所 長	石 井 村 省 一
附 属 図 書 館 長	坂 井 誠 一	附 属 小 学 校 長	下 川 本 崇 一
学 校 教 育 長	小 金 井 正 巳	副 校 長	川 野 幸 平
附 属 研 究 セ ン タ ー 教 授	新 井 康 忠	附 属 中 学 校 長	
教 授	南 舘 忠 智	副 校 長	
教 授	細 谷 直 樹	事 務 局	事 務 局 長
教 授	谷 津 直 栄	事 務 部 長	森 田 邦 清
教 授	萩 原 茂 男	庶 務 課 長	水 矢 部 忠 久
教 授	小 池 藤 雄	会 計 課 長	永 松 田 敏 豐
教 授	石 毛 フミ子	施 設 課 長	山 本 夫 將
教 授 (附 属 実 技 教 育 研 究 指 導 セ ン タ ー 長)	木 庭 修 一	教 務 部 長	山 沓 元 文 良
教 授 (附 属 学 校)	石 井 栄 一	教 務 課 長	沓 岩 浪 忠 由
第 一 部 学 部 主 事	新 井 康 一 祐	学 生 課 長	岩 大 木 晋 夫
第 二 部 学 部 主 事	細 谷 直 樹	図 書 課 長	宮
第 三 部 学 部 主 事	萩 原 直 茂	人 学 主 幹	
第 四 部 学 部 主 事	小 池 藤 雄		

## 部及び講座

部 名	講 座 名 等
第1部 (学校教育・幼児障害児教育研究部)	教育基礎、教育経営、教育方法、生徒指導、幼児及び障害児教育、学校教育研究センター
第2部 (言語・社会系教育研究部)	言語系教育及び社会系教育、実技教育研究指導センターの外国語教育の分野
第3部 (自然系教育研究部)	自然系教育
第4部 (芸術系教育研究部)	芸術系教育、実技教育研究指導センターの音楽教育及び美術教育の分野
第5部 (生活・健康系教育研究部)	生活・健康系教育、保健管理センター及び実技教育研究指導センターの体育教育の分野

## 附属図書館

### 蔵書数

(昭和58年3月31日現在)

区 分	一 般 教 育 等 (洋・和)						専 門 教 育 (洋・和)	合 計	学 術 種 類 雜 誌 数
	人 文	社 会	自 然	外 国 語	保 健 体 育	小 計	初 等 教 育 教 員 養 成 課 程		
蔵書	4,838	4,308	1,666	2,142	1,402	14,356	11,612	25,968	392

## 学校教育研究センター

学校教育の実践に係る科学的研究並びに実地教育（教育実習を含む。）などに関する研究開発を総合的、統一的に推進することを目的とする学内共同の教育研究施設として、学校教育研究センターを設置している。

この研究センターは、「教育資料・交流」「教育工学」「教育実地研究」の分野を置いている。

### 機能

- (1) 教師教育を推進するために、附属学校及び協力校との緊密な連携のもとに、教育実践にかかわる実証的科学研究を進める。
- (2) 優れた資質能力を備えた教員を養成する基盤として、教育の実地研究を推進し、教育実習及びその事前・事後の訓練について分析、検討や研究開発を進め、それらの抜本的改善を図る。
- (3) 教育現場における教育実践にかかわる諸問題の解決や新しい教師教育推進のため、情報や資料を広く収集・整理するとともに、共同研究のできる教育理論と実践の総合的教育研究施設とする。

### 内容

#### 「教育資料・交流」

- 1) 研究論文・資料の収集・整理・検索
- 2) 授業ビデオ・ライブラリーの設立と充実
- 3) 研究交流と施設の公開

#### 「教育工学」

- 1) 教育工学的手法による授業の改善に関する研究・開発
- 2) 教育情報処理に関する研究・開発
- 3) 教授メディアに関する研究・開発
- 4) プロジェクト・チームによる研究の推進

#### 「教育実地研究」

- 1) 授業に関する基礎的な実地研究
- 2) 教育実習の改善に関する研究
- 3) プロジェクト・チームによる研究の推進

## 保健管理センター

学生及び職員の心身の健康の保持・増進を図るため、保健管理センターを設置している。

このセンターでは、定期健康診断を実施するほか、専門の職員による健康相談及び学生相談によって学生及び職員の心身の健康状態を客観的に把握し、指導と助言を行っている。

## 附属実技教育研究指導センター

大学学部における教育や研究と密接な関連を保ち主として学生の自学自習により、教育に関する実際の、技術的能力、実技指導能力などの涵養を図るため、学部附属した実技教育研究指導センターを設置している。

この指導センターは「音楽教育」「美術教育」「体育教育」「語学教育」の分野を置いている。

### 機能

実技教科に関する指導力不足の原因を改善し実技教科に関する指導法を研究開発し指導力を向上させるため、研究・指導等を行う。

#### 「音楽教育」

音楽に関する理解の深化、各種楽器（特にピアノ）演奏や歌唱能力の伸長及び実力の認定。

#### 「美術教育」

美術・工芸に関する理解の深化、各種の美術・工芸技法の習熟を図るとともに、A V（視聴覚）資料以外の各種の教材作成の技能の習熟。

#### 「体育教育」

体力の増強と各種の運動技法の習熟及び実力認定。

#### 「語学教育」

外国語の読解、作文、聴解、対話に関する能力の伸長及び実力認定。

## 附属学校

学校教育に関する実証的な研究と学生の教育実習を行うため、附属小学校及び附属中学校（昭和56年4月新潟大学教育学部附属高田小・中学校を移管）を設置している。

また、将来は、幼稚園、養護学校を設置する予定である。なお、特に、学部学生については、教育実習を重視するため、上越地区の義務教育諸学校等にも、本学の実習協力校として協力を依頼し、学生の教育実習を行っている。

（昭和58年5月1日現在）

## 職員数

区 分	学 長	副学長	教 授	助教授	講 師	助 手	教 頭	教 諭	養護教諭	計	事務官	技 官	その他の職員	計	合 計
定 員	1	2	53	37		8	2	30	2	135	34	6	51	91	226
学 長	1									1					1
副 学 長		2								2					2
学校教育学部			45	35	1	7				88					88
附属図書館															
学校教育研究センター				2	1					3					3
保健管理センター			1							1					1
附属実技教育研究指導センター			3							3					3
附属小学校							1	15	1	17					17
附属中学校							1	15	1	17					17
事務局											34	6	51	91	91
現 員 計	1	2	49	37	2	7	2	30	2	132	34	6	51	91	223

# 学生の定員及び現員

(昭和58年5月1日現在)

学 部	課 程	入学定員	総 定 員 (完成時)	現 員								計	合計	
				1 年次		2 年次		3 年次		4 年次				
				男	女	男	女	男	女	男	女			男
学校教育学部	初等教育教員養成課程	200	800	55	146	74	124	83	124			212	394	606

大 学 院	専 攻 ・ コ ー ス		入学定員	総 定 員 (完成時)	現 員						合計	
					1 年次		2 年次		計			
					男	女	男	女	男	女		
学校教育 研究科 (修士課程)	学校教育 専 攻	教育基礎コース	15	30	15	3			15	3	18	
		教育経営コース	15	30	10	1			10	1	11	
		教育方法コース	10	20	11				11		11	
		生徒指導コース	10	20	9				9		9	
		計	50	100	45	4			45	4	49	
		幼 児 教 育 専 攻		30	} 59年度から学生受入れ							
		障 害 児 教 育 専 攻		50								
	教科・領域 教育専攻	言語系コース		80								
		社会系コース		60								
		自然系コース		100								
		芸術系コース	50	100	13	5			13	5	18	
		生活・健康コース	40	80	15	1			15	1	16	
		計	90	420	28	6			28	6	34	
	合 計	140	600	73	10			73	10	83		

研 究 生	学校教育学部	現 員		計		合 計
		男	女	男	女	
		1		1		

## 入学志願者数及び入学者数

### 学校教育学部

課 程	入学定員	志 願 者 数			入 学 者 数		
		男	女	計	男	女	計
初等教育教員養成課程	200	509	524	1,033	55	146	201

### 大学院学校教育研究科（修士課程）

専攻・コース		入学定員	志 願 者 数			入 学 者 数		
			現 職	その他	計	現 職	その他	計
学校教育専攻	教育基礎コース	約15	(3) 21	(4) 8	(7) 29	(2) 15	(1) 3	(3) 18
	教育経営コース	約15	17	1	18	9	(1) 2	(1) 11
	教育方法コース	約10	(2) 21	(1) 4	(3) 25	11	0	11
	生徒指導コース	約10	13	4	17	7	2	9
	計	50	(5) 72	(5) 17	(10) 89	(2) 42	(2) 7	(4) 49
教科・領域教育専攻	芸術系コース	約50	(3) 14	(4) 9	(7) 23	(1) 10	(4) 8	(5) 18
	生活・健康系コース	約40	(1) 18	(1) 3	(2) 21	(1) 15	1	(1) 16
	計	90	(4) 32	(5) 12	(9) 44	(2) 25	(4) 9	(6) 34
合 計		140	(9) 104	(10) 29	133	(4) 67	(6) 16	(10) 83

( ) は、女子で内数

## 県別入学状況

### 学校教育学部

性別 \ 県名	新潟	長野	富山	群馬	石川	岡山	徳島	その他	計
男	19	5	4	3	3	2	2	17	55
女	30	32	15	8	7	6	4	44	146
計	49	37	19	11	10	8	6	61	201

### 大学院学校教育研究科（修士課程）

身分 \ 県名	新潟	群馬	埼玉	千葉	東京	富山	長野	その他	計
現職	(1) 29	(1) 7	(1) 4	2	3	5	2	(1) 15	(4) 67
その他	(3) 5	0	(1) 2	3	2	0	(1) 1	(1) 3	(6) 16
計	(4) 34	(1) 7	(2) 6	5	5	5	(1) 3	(2) 18	(10) 83

( ) は、女子で内数

## 福利厚生施設

### 1 大学会館

室名	階別	用途等
第1食堂	1	食事(312席)
売店	1	書籍・日用品の購買等
第2食堂	2	食事(28席)
喫茶室	2	喫茶
理髪・美容室	2	理髪・美容
集会室(3室)	2	会議・研究会等
集会室(和室・2室)	2	会議、邦楽、茶道、華道等の練習(12帖・6帖)



雨池から望む学生宿舎

### 2 学生宿舎

#### 单身

区分	構造・階数	延面積	収容人員
男子用学生宿舎	R C 5		260人
女子用学生宿舎	R C 5		280人
計		10,197㎡	540人

#### 世帯

区分	構造・階数	延面積	戸数
世帯用学生宿舎	R C 5	1,870㎡	40戸



大学会館の売店で日用品等を購入する学生



## 校地及び校舎

### 1 校地

昭和58年5月1日

区 分	面 積
山屋敷地区(大学) 上越市山屋敷町1番地(含む山屋敷宿舎)	356,199 <sup>㎡</sup>
西城地区(学校教育研究センター附属小学校) 上越市西城町1丁目7番	37,406
本 城 地 区 (附属中学校) 上越市本城町6番2号	50,124
その他宿舎用地	7,340
計	451,069

### 2 校舎

名 称	構 造	階級	延面積	建設年次
人 文 棟	SRC	8	9,153	54～55
自 然 棟	SRC	8	6,393	56～57
講 義 棟	RC	3	2,193	55～56
実 験 棟	RC	2	1,152	55～56
音 楽 棟	RC	5	2,829	55～56
美 術 棟	RC	4	3,858	56
体 育 棟	RC	4	1,723	56
体 育 館	R	1	1,404	56
小 体 育 館	SRC	2	1,214	56
図 書 館	RC	3	3,196	57
本部事務局庁舎	RC	3	2,123	57
大 学 会 館	RC	2	2,217	55～56
学生宿舎(单身)	RC	5	3,692	55
			3,233	56
			3,272	57
学生宿舎(世帯)	RC	5	1,870	57
職員研修センター	RC	1	402	56
設 備 機 械 棟	RC	2	688	55～56



L.L 教室



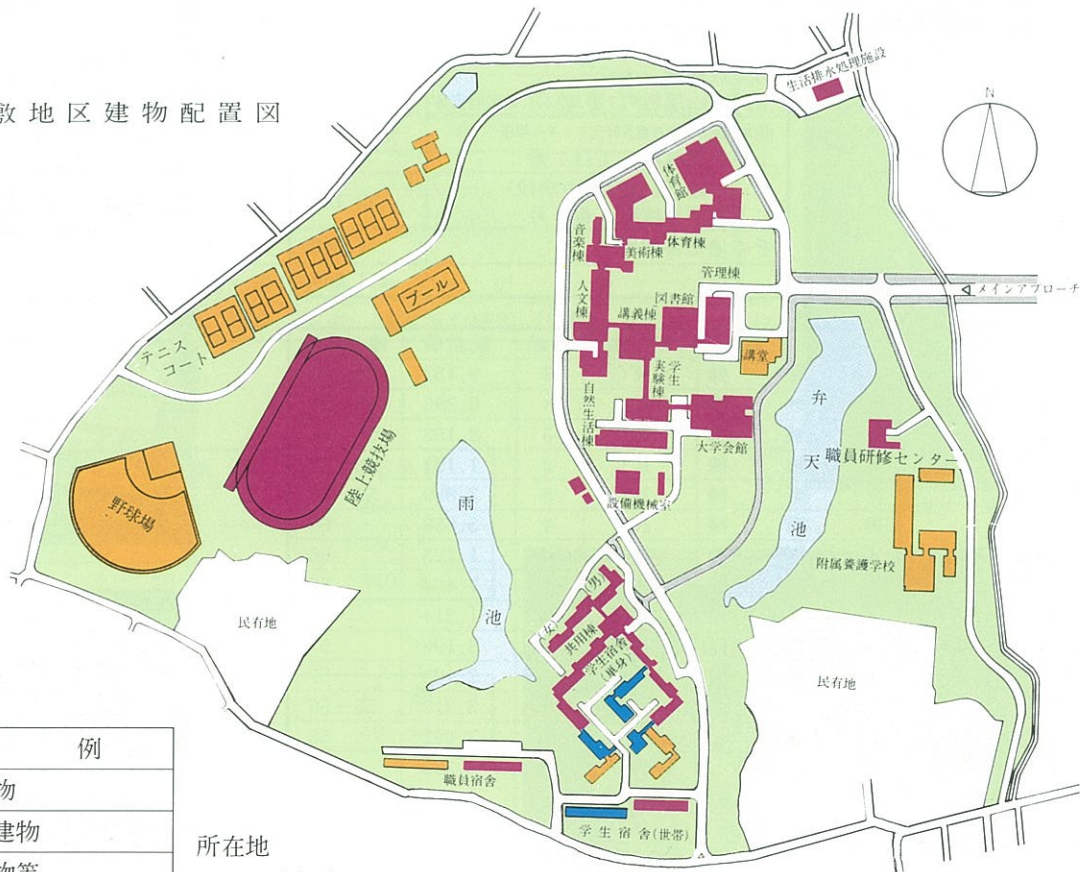
調理学実習室



特別講義室

# 建物配置図

## 山屋敷地区建物配置図



凡	例
<span style="display:inline-block; width:20px; height:10px; background-color:purple;"></span>	既設建物
<span style="display:inline-block; width:20px; height:10px; background-color:blue;"></span>	工事中建物
<span style="display:inline-block; width:20px; height:10px; background-color:orange;"></span>	計画建物等

所在地

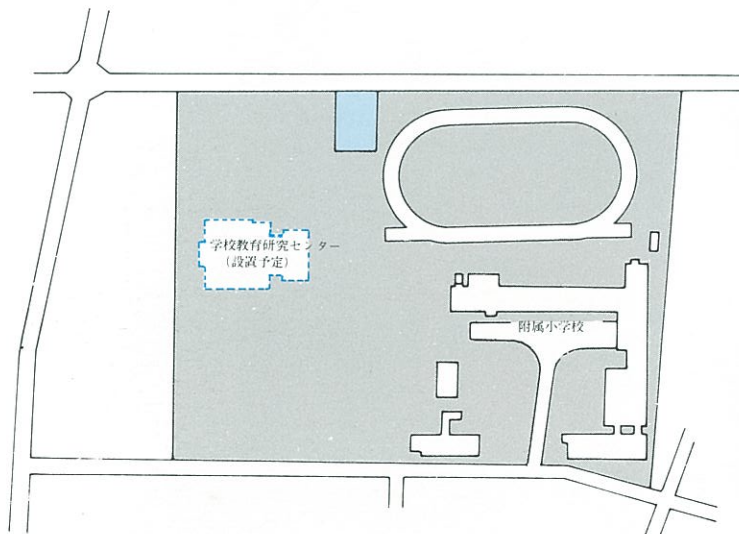
〒943 上越市山屋敷町1番地

電話 0255-22-2411



附属図書館、講義棟及び人文棟

## 西城地区建物配置図



学校教育研究センター  
(予定)

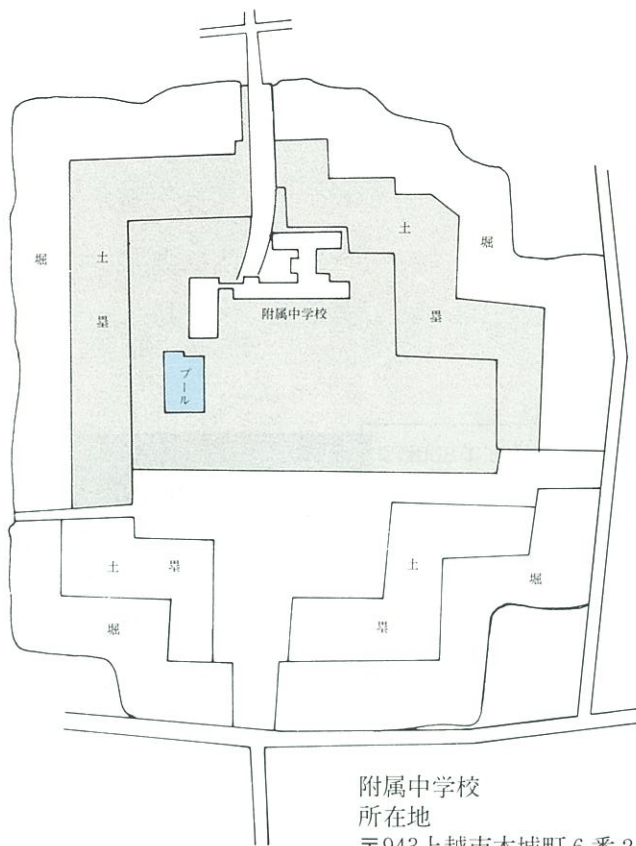
所在地  
〒943上越市西城町1丁目7番2号

附属小学校  
所在地

〒943上越市西城町1丁目7番1号  
電話 0255-23-3610



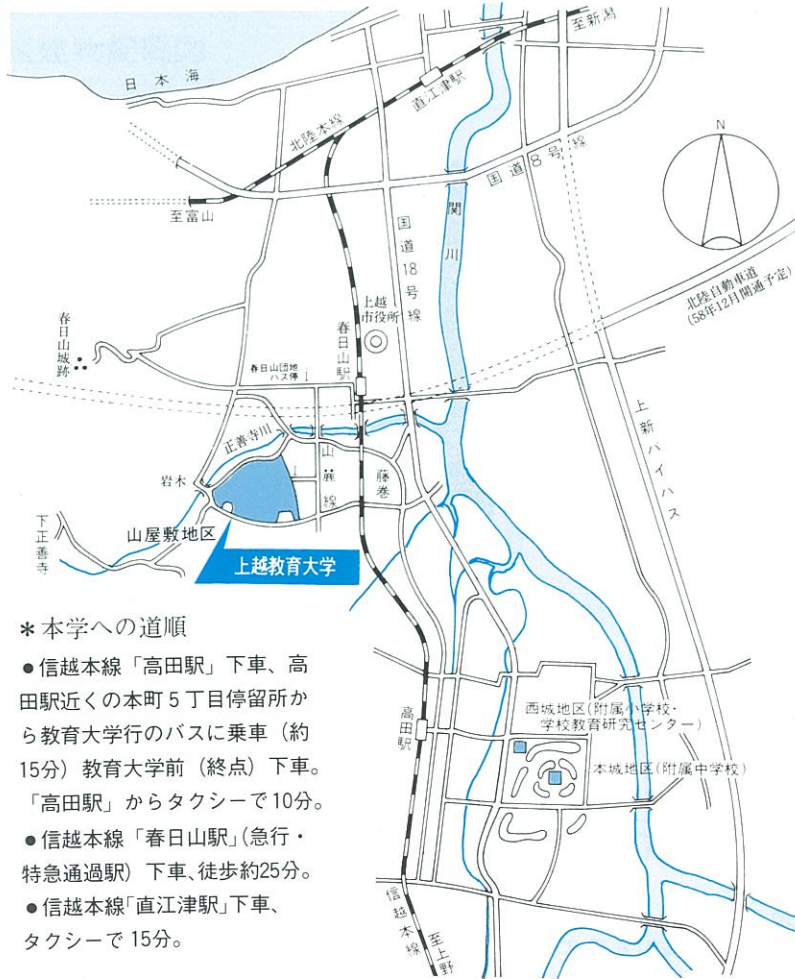
# 本城地区建物配置図



附属中学校  
所在地  
〒943上越市本城町6番2号  
電話 0255-23-5313

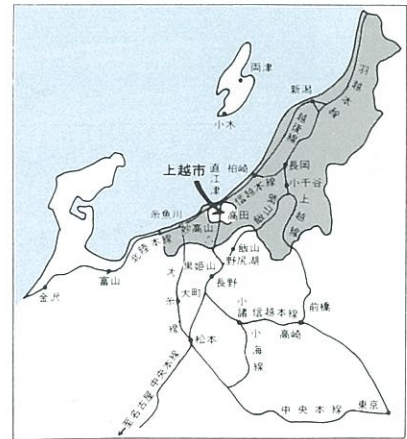


位置図



\* 本学への道順

- 信越本線「高田駅」下車、高田駅近くの本町5丁目停留所から教育大学行のバスに乗車(約15分)教育大学前(終点)下車。「高田駅」からタクシーで10分。
- 信越本線「春日山駅」(急行・特急通過駅)下車、徒歩約25分。
- 信越本線「直江津駅」下車、タクシーで15分。



昭和58年 6 月発行

編集発行 **上越教育大学総務部庶務課**

上越市山屋敷町 1 番地

電話 0255—22—2411



上越教育大学校章

JOETSU UNIVERSITY OF EDUCATION